

主要事業評価シート(第2次実施計画 / R1・2・3年度)

基本 事業 体系	計画コード	事業名		部名	産業建設部	
	17003	亀山駅周辺整備事業		課名	都市整備課 亀山駅前整備G	
	施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上		財務 科目	会計	01:一般会計
	基本施策	01:都市づくりの推進			款	08:土木費
	施策の方向	02:活力ある市街地の形成			項	04:都市計画費
戦略プロジェクト	03:「JR亀山駅周辺拠点力向上」プロジェクト		目		01:都市計画総務費	
事業予定期間	H 28 ~ R 3 年度	主な根拠法令要綱等		都市計画法、都市再開発法、都市再生特別措置法		

目的 概要	対象	市民
	目的	市の玄関口であるJR亀山駅周辺の再生を進めることで、駅周辺のにぎわいづくりと活性化、利便性及び安全性の向上を図る。
概要	JR亀山駅周辺のにぎわいづくりと活性化に向け、地域とともに駅周辺の再生に取り組む中、平成27年度に策定した亀山駅周辺市街地再開発推進計画に基づき、JR亀山駅周辺の整備を進める。	

		令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業 の 計画 実績	年度計画	2ブロック地区市街地再開発事業 ・補助金(補償等、除却・解体) ・公共施設管理者負担金 [駅前広場、亀山駅前線](補償等) 市道御幸7号線道路整備事業 ・用地測量、補償算定 市道御幸1・6号線道路整備事業 ・詳細設計、用地測量 駐輪場整備事業 ・用地買収 バスパース整備事業 ・用地買収 亀山駅周辺まち協支援業務	2ブロック地区市街地再開発事業 ・補助金(共同施設整備) ・公共施設管理者負担金 [駅前広場、亀山駅前線](工事) 市道御幸7号線道路整備事業 ・用地買収、建物等補償 市道御幸1・6号線道路整備事業 ・用地買収、建物等補償 亀山駅周辺まち協支援業務 ○費用便益分析業務	2ブロック地区市街地再開発事業 ・補助金(共同施設整備、101条登記等) ・公共施設管理者負担金 [駅前広場、亀山駅前線](工事) ○駅前広場整備事業 ・工事(シェルター、案内板等) 市道御幸7号線道路整備事業 ・工事 市道御幸1・6号線道路整備事業 ・工事 駐輪場、バスパース整備事業 ・工事 亀山駅周辺まち協支援業務
	年度実績	○2ブロック地区市街地再開発事業 ・補助金(補償等) ・公共施設管理者負担金 [駅前広場、亀山駅前線](補償等) ○市道御幸7号線道路整備事業 ・用地測量、補償算定 ○市道御幸1・6号線道路整備事業 ・詳細設計、用地測量 ○亀山駅周辺まち協支援業務		
	事業費	計画額	事業費 409,800千円 国庫支出金 177,600千円 県支出金 地方債 141,100千円 その他 一般財源 91,100千円	事業費 956,300千円 国庫支出金 487,200千円 県支出金 地方債 409,500千円 その他 一般財源 59,600千円
事業費	予算額	事業費 1,506,935千円 国庫支出金 769,147千円 県支出金 地方債 490,750千円 その他 一般財源 247,038千円	事業費 0千円	事業費 0千円
	決算額	事業費 1,461,644千円 国庫支出金 769,147千円 県支出金 地方債 490,750千円 その他 一般財源 201,747千円	事業費 0千円	事業費 0千円
人件費	総人件費	31,396千円	0千円	0千円
	一般職員	31,396千円	0千円	0千円
人件費	所要人員	4.00		
	会計年度任用職員等	0千円	0千円	0千円
総コスト(+)		1,493,040千円	0千円	0千円
受益者負担率		0.0%	0.0%	0.0%

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
指標	名称 事業進捗状況(2ブロック) 2ブロック市街地再開発事業の進捗状況	計画値	権利変換計画認可	2ブロック施設建築物着工	
		実績値	権利変換計画認可		
		単位			
	名称 事業進捗状況(市道御幸7号線) 市道御幸7号線道路整備事業の進捗状況	計画値	用地測量補償算定	用地買収建物等補償	工事
		実績値	用地測量、補償算定		
		単位			
名称 事業進捗状況(市道御幸1・6号線) 市道御幸1・6号線道路整備事業の進捗状況	計画値	詳細設計用地測量	用地買収建物等補償	工事	
	実績値	詳細設計、用地測量			
	単位				

事業の改善	前回評価	<p>【前回評価の対応方針の概要を記入】</p> <p>組合や事業推進コーディネータと密に連携を図るとともに、組合員との協議や設計等の業務など、組合への支援を積極的に行っていく。亀山駅周辺整備事業の全体計画を明確にするため、亀山駅周辺まちづくり協議会と連携し、権利者等との協議を密に行うとともに、道路等の公共施設の考え方についても具体的に整理していく。また、組合等と連携し、市ホームページ等を活用した情報発信を随時行っていく。</p>
	改善行動	<p>【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】</p> <p>組合やコンサルタントと協議を密に行うとともに権利者との話し合いを随時行うことで、3月19日に三重県より権利変換計画の認可が得られた。また、亀山駅周辺まちづくり協議会の役員会(3回)やブロック会議(各2回)を実施するとともに、プロジェクトチームにおいて計画の検討を行った。さらには、事業について市民説明会を2月に開催し、情報発信に努めた。</p>

		評価	(判定)
事業の評価	活動	<p>【計画どおりに実施できたか】</p> <p>権利変換計画認可に向けた権利者協議に時間を要し、認可が3月となったことから、組合における除却解体工事の着手などに遅れたが生じたが、補助金の交付決定や補償費等の支払い等を年度内に完了した。4Aブロックの優良建築物等整備事業については、権利者調整等に時間を要し、全体的に工程に遅れが生じたが、年度内に建築工事を完了するとともに補助金の交付決定及び工事発注を行った。また、1・3・4ブロック道路(市道御幸1・6・7号線)の補償算定や用地測量等については、計画通りに実施できた。</p>	B まずまず実施できた
	成果	<p>【成果は順調に上がったか】</p> <p>権利変換計画認可や市街地再開発事業等の補助金の交付決定等、駅周辺のにぎわいや活性化に向け、事業を推進することができた。</p>	B まずまず成果を得た

今後の対応方針	課題	<p>【課題は何か】</p> <p>権利変換計画認可を3月に得たことから、既存建物の解体除却や施設建築物や公共施設の工事に着実に着手できるよう、組合への支援を継続していく必要がある。また、亀山駅周辺整備事業の全体計画を明確にするため、1~4ブロック整備計画を権利者等とともに整理する必要がある。さらには、事業内容や進捗状況について、市広報やホームページ等を活用し、積極的に情報発信を行っていく必要がある。</p>	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他 <p>【その他の場合、その内容を記載】</p>
	対応	<p>【課題に対し、どのように対応するか】</p> <p>組合や事業推進コーディネータと密に連携を図るとともに、組合員との協議や工事等実施など、組合への支援を継続して行っていく。亀山駅周辺整備事業の全体計画を明確にするため、亀山駅周辺まちづくり協議会と連携し、権利者等との協議を密に行うとともに、プロジェクトチームを通して道路等の公共施設の考え方についても具体的に整理していく。また、組合等と連携し、市ホームページ等を活用した情報発信を随時行っていく。</p>	
	効果	<p>【対応することで、どのような効果が期待できるか】</p> <p>本事業による市街地再開発事業の実施や公共施設の整備により、本市の中心的都市拠点である亀山駅周辺の利便性と安全性が向上するとともに、にぎわいの創出が図られる。</p>	
対応時期		令和2年度	

【1次評価者】	産業建設部 都市整備課 亀山駅前整備グループリーダー 藤尾 春樹
【最終評価者】	産業建設部 都市整備課長 田所 学

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	B	B	B		
	成果	B	B	B		

		令和元年度予算額(事業費)の内訳
		予算額(事業費)
内訳		1,506,935 千円
		平成30年度からの繰越額
		1,418,746 千円
		令和元年度の最終予算額
	458,370 千円	
	令和2年度への繰越額	
	370,181 千円	